

ごぞいます

各表彰者を紹介します。

県民表彰（地方自治功勞）

寺澤

優國まさくにさん

（今福・坂野、76）



昭和50年5月に地域住民から推され、松浦市議会議員に当選以来、平成20年11月までの23年にわたり地方自治の発展に寄与されました。
特に3期を務めた議長就任時には、優れた指導力と統率力をもって円滑な議会運営に努められ、本市の産業・経済などの向上に貢献されました。平成16年9月には市議会市町村合併特別委員会委員長、松浦地域合併協議会委員として、市町村合併の促進に尽力され、平成18年1月の新市誕生に多大な功績を残されました。
また、平成20年12月から、副市長に就任され、市長の補佐役としての重責を果たし、市勢の発展に大きく貢献されました。

県民表彰（交通安全、防犯功勞）

本川

浩二こうじさん

（福島・伊万里釜、68）



昭和47年4月から松浦地区交通安全協会福島支部会員として活動、平成21年5月には、松浦地区交通安全協会副会長兼福島支部長として、幼児から高齢者に至るまで幅広い交通安全教育活動に取り組みられています。
高齢者交通安全講習会や幼児・児童の交通安全教室など積極的な活動を通して、地域における交通安全意識の高揚を図り、常に住民の安全を考えた行動に住民から尊敬と信頼が寄せられています。
また、交通安全活動のほかにも福島町文化協会会長、市観光物産協会常任理事、松浦保護司会副会長など、多岐に渡る献身的な活動を続けられ、地域のリーダーとして活躍されています。

県民表彰（特別賞）



新松浦漁業協同組合女性部

新松浦漁業協同組合女性部は、地元の小中学生を対象とした魚料理講習会や親子料理教室の開催を通して、効果的な魚食普及と食育の推進、地元水産業への理解促進に尽力されています。
また、修学旅行生を対象とした民泊の受け入れや魚料理体験を実施。漁村の生活と食文化の発信や漁村と都市部との世代を超えた交流により、地域の活性化に大きく貢献されています。
このような活動が高く評価され、本年7月に第7回海洋立国推進功勞者表彰水産振興部門において内閣総理大臣賞を受けられ、このことが長崎県の水産業の振興に寄与したとして今回の受賞となりました。

県民表彰（特別賞）



なぎなた競技少年女子長崎県選抜チーム なぎなた競技成年女子長崎県選抜チーム

第69回国民体育大会（長崎がんばらば国体）なぎなた競技の演技競技において、少年女子・成年女子のいずれも県勢初となる優勝の栄冠に輝き、長崎県のスポーツ水準の向上に貢献したことが高く評価され、今回の受賞となりました。
また、成年女子は、試合競技において第3位と活躍し、総合成績でも長崎県チームは第2位の好成績を収め、本県の天皇杯獲得に大きく貢献されました。
なお、松浦市からは、少年女子に末竹奈菜珠さんと鶴田彩乃さん、成年女子に福田歩さんと萩原有未さんが出場し、見事な成績を収めた長崎県チームの原動力として活躍されました。

受賞おめでとう

法務大臣表彰、県民表彰などの

松浦市文化・スポーツ功労表彰

松浦市スポーツ賞および松浦市体育協会功労賞の表彰式が11月21日にきらきら21で、松浦市文化功労表彰式が11月23日に文化会館で行われました。

この表彰は、本市の文化とスポーツの振興を図ることを目的に毎年実施。地域文化・スポーツの普及・発展に大きく貢献された人および文化・スポーツ分野で優秀な成績を収められた人に贈られるものです。

受賞者は次の通りです(敬称略)。

【松浦市文化功労賞】

佐木 茂 (福島・里)

【松浦市地域文化賞】

〈放送〉

県立松浦高等学校放送部

〈絵画〉

鴨川 堯弘 (福島・福崎)

反田 美幸 (福島・福崎)

〈書道〉

小松 玲雄 (御厨・御厨定促)



【松浦市スポーツ賞 (個人の部)】

〈剣道競技〉 池田 光騎 (御厨・市場)

〈陸上競技〉 鬼塚 翔太 (志佐・池成)

〈なぎなた競技〉 鶴田 彩乃 (調川・前浜団地)

末竹奈菜珠 (調川・前浜)

萩原 有未 (志佐・田ノ平)

福田 歩 (調川・中免)

〈バレーボール競技〉 丸山 祥二 (鷹島・三里)

〈卓球競技〉 山鹿 泰史 (志佐・里1)

【松浦市スポーツ賞 (団体の部)】

志佐小学校男子ミニバスケットボールクラブ

グラウンド・ゴルフ松浦 (さわやかクラブ)

松浦少年野球クラブ

【松浦市体育協会功労賞】

市卓球協会会長 樋口 勇次 (福島・播磨釜)

市卓球協会理事 万谷 宏 (御厨・駅通)

市ソフトボール協会競技力委員長 川上 利幸 (御厨・小船)

市陸上競技協会監事 松田 徳一 (今福・恵比須町)

市ゲートボール協会理事長 金子 勝昭 (今福・西新町)

元市グラウンド・ゴルフ協会会長 大川内 良 (今福・栄町)



法務大臣表彰

(保護司功労)

大畑

安盛さん (75)

(志佐・里2)



平成11年12月、保護司に就任されてから15年の永きにわたり、罪を犯した人々の改善更生を助けるとともに犯罪予防のために世論の啓発に努められ、地域社会の浄化と個人および公共の福祉のために尽力されています。

平成25年4月には、平戸松浦地区保護司会松浦分区長に就任、平成25年11月からは平戸松浦地区保護司会会長に就任され、会の運営をはじめ、幅広く地域社会の安全のために貢献されています。

日本における更生保護制度が施行されて65周年を迎えるにあたり、社会奉仕の精神をもって永年更生保護事業に尽力されてきた功績が高く評価され、今回の受賞となりました。

ながさき農林業大賞

(長崎県知事賞)



前田 耕一さん (61)

綾子さん (60) (御厨・木場)

昭和48年に就農されて以降、花きと水稲の複合農業を営まれています。

ツツジの苗木栽培から安定需要が見込めるシキミをいち早く導入し、規模拡大を図りながら、耕作放棄地の解消と地域の雇用創出に大きく貢献されています。

平成16年には、地区内のツツジ栽培農家6名でシキミ生産組合を設立。その後も組合の中心的な存在として活躍され、鮮度維持と品質向上への取り組みとして、共同集出荷場とプレハブ冷蔵庫を導入し、出荷体制の整備を図るなど、シキミ経営の発展に大きく寄与されています。

また、先導的農業者、農業者にも認定されており、市内農業者のけん引役として本市の農業振興に貢献されています。